

上島町消防だより

災害で活躍する無線

上島町アマチュア無線クラブ誕生

無線クラブ誕生

上島町と町内無線愛好家が協働して、消防庁管内に「上島町アマチュア無線クラブ」を平成21年3月に設立し、アマチュア無線機の整備を図りました。

平成7年の阪神淡路大震災の時、あらゆるライフラインが寸断され、ほとんどの通信手段が途絶えた中、個人の無線機による通信が出来たため、アマチュア無線家たちの連絡網が災害情報の伝達や人命の救助に大きく貢献しました。

災害、非常時には有線通信網が使用不能に陥った場合、アマチュア無線は有効な通信網であり、県庁や警察、市役所、他消防本部もアマチュア無線の整備を図っています。

会員を募集しています！

上島町に在住の方でしたら誰でも入会できますので、この活動に協力いただけるアマチュア無線愛好家を募集しています。アマチュア無線に興味のある方は、上島町消防本部防災担当までお問い合わせください。



南海地震に備えて

津波警戒高海拔

5メートル標識を設置

◎設置の目的

国は南海地震の際、満潮時に2～3メートルの津波（海拔4～5メートル）を想定しており、上島町では町内50箇所の一時的避難場所への避難路に縦40センチ、横30センチの「津波警戒高海拔5メートル標識」を設置しました。

これは、津波水位の高さを認識してもらい、地震発生時には迅速に最低5メートル以上の高さに避難するための目安として、平時には改めて住民の防災意識の高揚を目的として設置しました。

この標識は写真右のように電柱や看板等に設置しています。写真下の矢印の場所が海拔5mです。



平成21年出動件数

年別	摘要	火	災	救	急
平成21年(3月)		0		38	
平成20年(3月)		1		28	
昨年比		-1		+10	
21年累計		1		110	

平成21年3月31日現在

火災・救急・救助は119番

※携帯電話からでもつながりますが、発信場所によっては他の消防本部につながる場合もあります。

上島町消防本部
77-4118(代)

分かりにくい小児の症状にアドバイス 小児救急医療電話相談

夜間に突然、子どもの身体の具合が悪くなった時、小児救急医療電話相談をご利用ください。看護師や医師などが家庭での応急対処の方法などについてアドバイスをしてくれます。

※利用方法

① 固定電話プッシュ回線・携帯電話

#8000

② ダイヤル回線など

089-9913-2777

※利用できる時間帯

毎日19時～23時

※ご利用にあたっての注意事項

- ① 電話による相談であり、診断・治療ではありません。
- ② 医療機関を紹介された場合は、必ず電話をかけてから受診してください。
- ③ 相談は無料ですが、県内通話料がかかります。

平常時の防災活動について

防災対策の基本とは!?

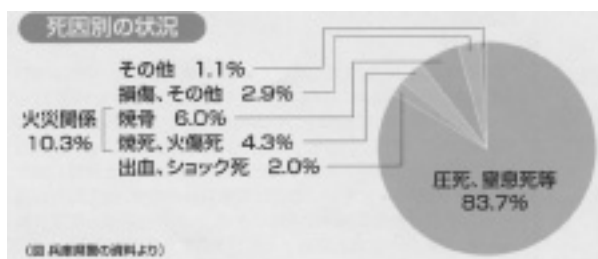
防災対策の基本は「自助・共助・公助」がうまくかみあうことだといわれています。その中でも重要なのは「自分の命は自分で守る＝自助」であり、「地域の安全をみんなで守る＝共助」に繋げていくことが重要です。

防災に対する知識や家庭内での対策をご紹介します。

命に直結する建物の倒壊！

阪神・淡路大震災で亡くなった方の8割以上は、家屋の倒壊が原因でした。

この経験から「建物の倒壊が人命に直結する」という知識は定着し、建物の倒壊に対する危機感が高まりました。しかしながらこの危機意識が自宅の耐震改修等の具体的な行動に直結していないのが現状です。



あなたの家は大丈夫？ ～耐震のポイント～



木造住宅を耐震的に強くするためには、壁を多く入れることが基本です。加えて、壁をバランスよく配置したり、柱の留めつけを適切に行うことが大切です。阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた古い木造住宅や、比較的新しい住宅でも大きな被害を受けたもののほとんどは、これらのうちいずれかが不十分だったといわれています。

インターネット中には、簡易的な自己耐震診断の出来るサイトがあり、住宅のどのようなところに地震に対する強さ、弱さのポイントがあるのかを紹介しています。

ご自宅の耐震化をお考えの方、耐震診断を受けてみたい方は、上島町各支所の産業建設課にお問い合わせください。

ブロック塀も点検しましょう！

地震の揺れが起きたとき、人間はとっさに物陰に身を寄せると言われています。

過去の震災で、多くのブロック塀の倒壊被害がありました。倒壊した塀の下敷きになって死傷者が発生しています。

また、倒壊した塀は、道路をふさぎ、避難や救助・消火活動を妨げる場合もあります。ブロック塀の安全性を点検して、災害に備えましょう！

まずは一目で分かる外観の点検をしてみましょう。

①全体の傾き ②ひび割れ ③損傷 ④著しい汚れ ⑤ぐらつき
点検をした結果、ブロック塀の耐震性に不安のある方は、専門知識を持った人に相談し、精密検査、転倒防止策等を講じましょう。

